

学年	高校2年	教科	公民	科目	現代社会	単位数	2
教科書名	高等学校 新現代社会 (帝国書院)			副教材名	ライブ！現代社会 2021 (帝国書院)		
コース クラス	進学／スポーツ・芸能 N進学 (理系) /スポーツ／芸能			担当者名	上山 拓／菊池 伸浩／土方 宏隆		

I. 目標

1. 3年次の基礎学力到達度テスト（「倫理、政治・経済」）において出題される、倫理分野・政治経済分野につながる単元の理解・定着を図る。
2. 現代の日本・世界情勢を多角的な視点でとらえる力を持ち、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
3. 授業で学習した内容を踏まえて、模擬試験などの総合的・応用的な問題で得点できる実力を身につける。

II. 授業のねらい

1. 資料集（写真・地図を含む）の内容を随時扱い、最新のデータや図表を読み取る力を育成する。
2. 単元ごとに演習問題や過去問を解くことで、応用問題に慣れさせ、「現代社会」を入試科目として捉える。
3. 基礎学力到達度テストの難易度、出題傾向を念頭に置いて、テストに対応できる学力を目指す。

III. 授業の進め方

1. 原則、電子黒板などを活用し、板書をしながら教科書の順に沿って授業を進める。
2. ①現代社会の諸課題、②倫理、③政治・経済の3つの分野のうち、③は、高校3年の「政治・経済」で詳しく学ぶ機会がある。そのため、現代社会の授業では、特に①と②の分野に時間をかける。
3. 授業は主に講義形式で行うが、内容に応じて、ディベートやプレゼンテーションの機会を設ける。
4. 必要に応じて、「倫理」に関する教材を用いる。
5. 毎時間、時事問題を取扱い、世の中の動きをつかむ。

IV. 学習上の留意点

1. 現代社会における事象への関心・意欲を高めるような内容を授業に盛り込むこと。
2. 板書の書き写しだけでなく、様々な事象と関連付けて覚えること。
3. 細かい情報も説明し、メモを取る習慣をつけること。
4. 配られた資料は、必ずノートに貼って管理し、復習に努めること。

V. 定期試験

- | | | |
|-----|-------|--------------------------------------|
| 1学期 | 中間試験 | : 実施しない |
| 1学期 | 期末試験 | : 現代社会の諸課題とそのとらえ方 ～ 現代社会のしくみと私たちの生き方 |
| 2学期 | 中間試験 | : 現代の社会生活と自己実現 |
| 2学期 | 期末試験 | : 現代国際社会と日本の役割 |
| 3学期 | 学年末試験 | : 国際政治の動向と平和の追求 |

VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 発言、提出物（課題）

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第I部 現代社会の諸課題とそのとらえ方 <u>テーマ 環境</u> 1. 人間の活動と環境問題 2. 地球環境問題に関する国際的な取り組み <u>テーマ 人口・資源・エネルギー</u> 1. 人口と食料・水資源の問題 2. エネルギー資源の問題 3. 持続可能な社会に向けて	小テスト 課題提出	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ学習に関しては、制度制定の趣旨やとりまく法制度についても理解する。 ・自分の意見を持ち、発表する力をつける。 ・環境問題が生じている原因について理解する。 ・青年期における悩みがもつ意味と、悩みへの向き合い方を考察する。 ・防衛機制に関しては、到達度テストで出題されているため、多くの問題を解き理解する。
	5	<u>テーマ 生命</u> 1. 科学技術の発達と生命 2. 生命倫理の考え方 <u>テーマ 情報</u> 1. 情報化の進展		
	6	第II部 現代社会のしくみと私たちの生き方 第1章 現代の社会生活と自己実現 第1節 青年期の意義 1. 青年期について考えよう 2. 悩むことについて考えよう 3. 男女について考えよう 4. 社会参画について考えよう		
	7		期末試験	
一学期	9	第II部 現代社会のしくみと私たちの生き方 第1章 現代の社会生活と自己実現 第2節 よく生きるとは 1. 生きることについて考えよう 2. 学ぶことについて考えよう 3. 他者と共に生きることを考えよう 4. 宗教について考えよう 5. 日本人の思想について考えよう 6. 日本の伝統と文化について考えよう	小テスト 課題提出 中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・古代ギリシャの哲学者について学習し、現代の様々な問題をどうのりこえるべきか考察する。 ・西洋近代で理性や啓蒙を重視する考え方が生まれたことの影響を理解する。 ・宗教がもつ意味を考察する。 ・国際社会において、他者を理解するためには、たがいの宗教を学ぶ必要があることを理解する。 ・国際経済体制の変化について考察する。戦後の国際秩序の変化に関わる諸問題を理解する。世界史・日本史の学習と連動して理解する。
	10			
	11	第4章 現代国際社会と日本の役割 第1節 国際経済の動向と貧困の解消 1. 国際経済のしくみ 2. 国際経済の枠組み 3. 地域経済統合のゆくえ 4. グローバル化と自由貿易協定 5. 新たな国際経済の秩序 6. 経済格差とその是正		
	12		小テスト 課題提出 期末試験	
二学期	1	第4章 現代国際社会と日本の役割 第2節 国際政治の動向と平和の追求 1. 国際社会における国家 2. 戦後の国際情勢 3. 現代における紛争	小テスト 課題提出	<ul style="list-style-type: none"> ・国際法、国際連合、冷戦終結後の国際政治、核軍縮や管理について学習し、国際社会と日本の関係について戦後史の流れで考察する。
	2	4. 国連の成立と役割 5. 国連の課題		
	3			

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。